

市長と話し合う会 市民室

平成 26 年 11 月 2 日（日） 13 時 30 分～

1. 道路・水路脇の草刈りについて
2. デマンドタクシーエリアの拡大について
3. 商店街の活性化について
4. 医療費支出を抑えるための健康増進施策について
5. 行財政改革大綱の公開方法について
6. 女性管理職の登用について
7. 市内大手企業に関する新聞報道について
8. 東部台地区の下水道事業再開に関する再考について
9. 公共設備の修繕に関する他自治体との比較について
10. 市内大手企業に関する情報提供について
11. 災害対策に関するタイムテーブルの情報共有について
12. 図書館のあり方について

平成26年「市長と話し合う会」 茂原市役所市民室

平成26年11月2日

◆議事進行者

それでは、始めさせていただきます。

会を始める前に、皆様方に何点かお願いがございます。

本日のご質問をいただく順番でございますが、最初は事前に質問、ご要望を提出していただいている方をご指名いたします。その方の質疑が終わりました後に、本日参加されている皆様方に質問をお伺いしたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

次に発言方法でございますが、発言なされる方は必ずお名前、団体名をおっしゃってください。また、お1人ご質問いただく時間につきましては、5分以内で2問までにまとめて発言をお願いしたいと思います。また、できるだけ大勢の皆様方より質問をいただきたいと思っておりますので、簡潔をお願いいたします。

最後に、本日の市長と話し合う会は、15時20分ごろから市長に本日の総括を行っていただき、終了時間を15時30分を目安にさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

重ねて申し上げますが、質問要旨はできるだけ簡潔をお願いをしたいと思います。多くの方々のご意見をいただくため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、始めたいと思えます。

それでは、事前に質問の申し込みがありますので許します。

〇〇さん、挙手をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

◆質問者1

立木の〇〇でございます。こんにち。私の悩みは小さくてちょっと言いにくいんですけども、私のほうの立木というのは、茂原で見れば周りございますけれども、いわゆる田舎町ですね、田んぼがありまして。

それで、きょうお話ししたいのは河川と市道の草刈りなんですけども、私どもの部落では道路を間口にある地主さんが管理するんだよ、草を刈るんだよというのは、何十年も言っていました。それは今も続いています。ちょっと来ていただければ、立木の中はちょうど10センチぐらいのきれいなグリーンになっていまして、ゴルフができそうな感じですよ。それで、大体大きな川と市道で挟まれていまして、川のほうはやっぱり草刈りに行かなきゃいけないんですけども、これは県と市でアダプトプログラムというシステムをとっていただきまして、それを活用させてもらって何とかやっております。

市道に関しては、確かに市の財政がないというのは当然ながら、地主さんである市は草を刈るのは無理だというのは私どもは認識しています。これは昔から私たちもそう思って

いると思います。ですから、今、市長さんは何十億貯金が増えてきたと言ったけども、それで刈ってくれとは私は言いませんけれども、ただ、結構のり面の長いところから影響のあるところ、私の部落にはよそから人を呼んで刈ってもらっている人もいます、シルバーを使って。それで多分、自費でやっている人もいます。私のところなんかは多いんですけども。いつもお世話かけながら、これがまた年に6回、何十年も延々と続いていくんだなということを、また4月、5月の田植えが終わった時点にはみんなで祭りをやりながら話はするんですけども、これ、なんかならんかなと話して、やっとな河川のほうはアダプトプログラムができたんですね。

道路のほうは1回なんか話をしなくちゃならんかなという話を何年もしながら、手帳を見ましたら、去年もこの会に参加することになっていたんですけど、ちょっと来られなかったんで、今年は勇気を出して来てみました。

1つ伺いたいのは、我々が市道の間口を刈っている、しかも結構勾配のきついところ、あるいは非常に長いところ、平日刈っていますけども、これを市の方たちが認識してくれているのかなど。何も知らないということで、私らなんかはボランティアで必死になって、労力とお金を使って草を刈るというのも寂しいなと思っております。

それで、暫定的な1つの方法としまして、例えばどなたか部落に住んでいる市の職員の方に来ていただいて、何々さんご苦労さまです、暑いのにねと、そういう言葉をかけていく。道路に関して草を取るというのは、隣の地権者と市がどうのこうのという話しよりも、地区にいる市の職員も含めてそれを慰労したり、あるいは市の何々課の職員でいいけども、あそこ草刈り大変だなと。場合によっては、昔でいえば温水プールの手入れの一つもやって、疲れたらたまには体を癒やしてくださいよと。あんまりお金をかけろとは言いませんけども、こういう我々のやっていることに対して何か励みをいただきたいなと思っているんです。

我々は一町歩ぐらいのを刈っていますので、行く行くは人に貸したりなんかしなきゃならないかなと思っています。ただ、こういう大きな草刈りがあると借り手がいないんです。それがついていっちゃいますからね。かといって田んぼだけ貸して、草刈りは我々地主がやるという話になると、それはまた結構大変なので、今の時代、こういうふうな変化が来ました。ですから、昔からずっと来て、これは私のやる義務だと言いながら刈っているのがだんだん欠けてきて、もしかして私の田んぼも、私があと20年やったら、次やってくれるのかなとも思っています。さっき市長さんから人口少子化という話もありましたけども、草を刈らなくちゃいけないんなら、ほかに行くなんて言われちゃうことがあるとも限らないということも気にしています。ある程度拡大解釈かもしれませんが。

きょうは私、皆さん方からこれこれこういうという回答はあえていただこうと思いません。ただし、私どもがやっているやつを少し市でも、ああ、やっているな、大変だなということをどこかで思っていていただいて、物は要らないんですけども、何かで表現していただきたいと思っています。

私がいろいろお願いしました資料をもらいましたけども、その中でもし関係課の方から、これに対して、ちょっとこんな話もあるよという話があればお願いします。なければ結構です。どうもありがとうございました。

☆都市建設部長

都市建設部長でございます。日ごろより、今お話にございますとおり、草刈り等ご協力いただいておりますことには感謝申し上げる次第でございます。

この道路水路の草刈りにつきましては、今お話がございましたけども、市のほうでやっているのは非常に大きい幹線的な道路ですとか、水路を中心に今現在実施しているところでございます、そのほかの耕作をされている田や畑の周囲の道路、水路につきましては、耕作者の方のご厚意として草刈りをさせていただいているところでございます。また、その他の箇所につきましても、自治会ですとか、地域のボランティアの方々にご協力をいただいているところでございます。現在、市で管理しております道路につきましては約1,000キロ、また水路につきましても400キロ程度の延長がございまして、これを全て市で行うことは大変難しい状況でございますので、引き続きご協力をお願いいたしたいと考えております。

そういう中で、今お話のございました認識しているのかとか、また励みになるものとかということも含めまして、今、こういう状況でございまして、最近、高齢化の問題とかで草刈りができなくなるというお話もいろいろいただいておりますので、現在、担当課のほうで何かいい方法がないか、今、検討をさせていただいているところでございますので、お話にございますアダプト的なものも含めて検討させていただいておりますので、もうしばらくご理解のほどよろしくお願いいたします。

◆議事進行者

では、これから皆様からご意見を伺ってまいりたいと思います。発言なされる方は挙手をしていただき、お名前または団体名をおっしゃっていただきたいと思います。よろしく願いをいたします。

どなたかいらっしゃいますか。

◆質問者2

〇〇と申します。3年前ですか、ちょっと質問して、あれからちょっとあれなんですけども、デマンドタクシーの南側のほうのあれはあれからどうなったのかちょっと聞きたいんですけど。北のほうはまだやっているんでしょうか。1年で今試験的にやっているということで、あれから3年ぐらいたっていますから、ちょっとわからないので。今年3年目ですね。私、質問してあれですけど、3年きたんですけど、どうなっているんでしょうか。お願いします。

☆市民部長

市民部でございます。いつもお世話になっております。デマンドタクシーにつきましてはその前にアンケート等を取りまして、平成25年10月から、ですからもう1年経過しておりますけど、豊田と新治地区などを対象としてのデマンドタクシーを実施いたしております。それ以外の地区につきましては従前どおりの市民バスということで、週3日程度の運行が今は平日運行ということですが、平日毎日運行ということで実施をさせていただいております。

以上です。

◆質問者2

1年で考えるということだったんですけども、私がたしかここで質問したときは。あれから3年ですか、私、去年来なかったんですけども、1年で考えるということでやったと思うんですが、結局はそのまんまですか、今。だから、南部のほうはデマンドバスは行かないんでしょ。

☆市民部長

南部地区のほうにつきましては利用者等が結構ございますので、従前どおりの市民バスという形で運行させていただいております。北西部地区につきましては利用者等が減ってきておりましたので、デマンドタクシーという乗り合い型のタクシーということで、昨年10月から実施させていただいたということでございます。

以上です。

◆質問者2

もう一つお願いしたいんですけども、市長にちょっと聞きたいんですが、やっぱり3年前にちょっと聞いたと思うんですが、商店街の活性化、これはどうなったんでしょうかね。小学校、中学校に聞いて、広報まで載って、それで郊外のほうにどんどんできて、これまた同じ質問になるんですが、これじゃ商店街の活性化なんてとてもじゃないけども、もうできないですね。小学生、中学生、高校生みんな集めて市役所の中で、写真によく出ていますけども、七夕だけで85万人ですか、今回。これ圏央道ができて、この前、広報に載っていましたが、市長がこうやって書いてあるのを全部みました。だから、商店街のほうをやらないと。だから、やらないというか、こんなのもう終わりというあれにしても、廃止したほうがいいんじゃないかと、早い話。活性化というのはたしか3年前から出ていると思うんですが、こっちもちょっと期待しているんですけどね。ただ、そういうことができないもので、だから、これどうなっているのかなと思って、ちょっとまた同じことを聞きたいと思いますが、お願いいたします。

☆市長

体育館でもお話しさせてもらったんですが、商店街の活性化は大変重要なことだと思っております。ただ、1回目でも話しましたが、商店街の皆さん方に活性化させるために協力していただけないかというアンケートをとりましたところ、2軒だけ協力してもいいと。ですが、それ以外の方たちは新規に活性化させるための投資とか、あるいは行政がそれなりに協力するとは言っても、既に店を閉じて、そして、じゃ、貸してくれませんかという話もするんですが、この辺もなかなか難しいということで、これはおそらく茂原だけではなくて、東金もそうですし、それから木更津、千葉県内はもちろんですけど、全国的に大きな問題になっている話でございます。したがって、基本的に商店街の活性化を行政側が先に進めようと思ってもなかなか難しいというのが、今の現状だと思っております。

これは前にも話したかもしれませんが、商店街の皆さん方、跡継ぎの方たちも既に外に勤めに出たか、それから商売をどっちかというのをやりたくない。こういう雰囲気になっている方が多いのかなという感じでおりますので、非常に難解でございます。

それから、今も中心街の活性化で相当前から取り組んでおりますけども、これも前にも話したと思いますが、法律上、1回手をつけてしまうと、途中で中断することが難しい問題でございます。そういったことが法律できちんと網のようにかぶさってきちゃっているものですから、やろうと思っても相当お金はかかりますし、それは毎年毎年少しずつですが、1億円程度ぐらいずつやっているんですが、まだあと100年、100億以上かかるだろうと言われておりますので、そうせざるを得ない。何かいい方法はないかということで、それも今検討はしています。よく言いますが、法律の問題というのはなかなか難しいところがございますので、皆さん方に説明するのも非常に難解ですが、これが現実でございますので、ご理解をしていただきたいと思います。

☆都市建設部長

今、市長のほうからお話ししましたとおり、事業そのものをやめるということは、法律とかも含めまして非常に難しい状況でございますので。

◆質問者2

商店街ですか。

☆都市建設部長

はい。商店街の区画整理をやっている部分なんですけど、そういうわけで、今、いかに早く終わりにするかということで、それはいかに経費を少なくできるかという検討も含めてやっているところでございますので、何とぞご理解のほどよろしくお願いしたいと思います。

す。

◆質問者 2

では、商店街はなくなるのでしょうか。

☆都市建設部長

いいえ、そういうことではなくて。

◆質問者 2

毎年1軒か2軒ずつどんどんなくなっていますので、結局はなくなっちゃいますよね。毎年1軒か2軒なくなっているんですから。

☆都市建設部長

商店街の現状の話で言いますと、今、市長のほうから話をいたしましたように、それぞれの商店主の方がいて、いろいろな意向を持っているという部分もございますし、今、ですから中心街については商店街をなるべく減らさないように、あわせてそこに住むところですか、住宅、だんだん人も減ってしまうという現状もございますので、そういうことにならないように人に住んでもらって、それにあわせて商店もと。あと、なかなか難しいんですけども、コンパクトシティというのが今の国全体の構想になっておりますので、そういう中でいろんな、例えば医療ですとか、福祉ですとか、あと教育的、文化的な施設をそういうところに配置していけるという方向で、今、区画整理のほうでその基盤の整備をしているということなんですけども、いかんせんいろいろご意見もいただきまして、あまりにも時間がかかり過ぎるという話もありますので、今、それをいかに早くやるかというのを総合的に検討しておりますので、よろしくお願いいたします。

◆質問者 2

今、全国で商店街はみんなつぶれていますから。最近、結構活性化しているところ、やっているところがあるんですよ。そういうところをまねてやる分にはいいんじゃないかと。ただ、この役所だけでやっているんじゃないかと、そういう成功した例のところは結構あるんですよ。だから、そういうところを視察なり何なりしてやってもらって、いろいろとそういうものがあると思いますので、それはよろしくお願いします。多分こんなものは終わりだと思いますけどね。商店街はなくなりますから。

☆都市建設部長

事業実施に当たりましては、地元の商店街の方ですとか、住んでいらっしゃる方も一緒になった「まちづくり推進協議会」という組織をつくりまして、そういうことも含めて一

緒にやらせておりますので、今のお話も伺って、また協議会のほうに話をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◆議事進行者

よろしいですか。

じゃ、ほかのご質問。いらっしゃいますか。

◆質問者 3

団体所属じゃないんですけれども、高師に住んでおります〇〇と申します。去年は文化祭が中止になりましたけど、今年は実行できて、しかも期間中にこのような会を設けていただいてありがたいなと思っております。

先ほど市長さんのほうから高齢者対策ということで、特に長生病院の充実を図りたいということですが、なかなかそこがいかないということでしたけれども、大変ありがたいなと思っております。

反対に、茂原市もそうだと思いますけれども、税収を上げて、支出をできるだけ抑えるというのが、本来、市としてはいいことなのかどうか分かりませんが、私なりにちょっと考えているんですが、医療費の増加というんでしょうか、ですからハードな面での対策というのは非常に重要だとは確かに思うんですけれども、ソフトと言っているのかどうか分かりませんが、高齢者問題を具体的に考えるのであれば、病院をつくることも大事でしょうけれども、健康増進、特に老人の健康増進という対策をどんどんやるべきではないか。要するに医療費を抑える、そういう対策をやるべきじゃないかと思っております。

大変失礼な言い方かもしれませんが、私も父母を今介護している立場なんです、月に通院することも多々あります。そこの薬剤師さんのお話ですと、お医者さんは湯水のように薬を出している。沢井製薬ができましたから、茂原市としてはどんどん使ったほうがいいのかもしれませんが、話によると痴呆の方などはそれを飲んでいない人もいます。無駄にしている。そういう例もあります。それも全国的にそういうものを回収しようなんていう声も出ているわけですが、市としましてできれば、こう言うと怒られるかもしれませんが、昔、漢方をやったときにラジオ体操をはやらせた。つまりラジオ体操を全国的に、国民の健康を増進することによって、できるだけ支出を抑えるという形をとったということも聞いておりますし、それが脈々と今続いているところもあるかと思いますが、健康増進をして、できるだけその部分の支出を少なくするという対策があつてしかるべきかなと思っております。

もちろん病院の充実、先ほども言いましたけれども、すごく大事なことだと思っておりますけれども、その辺をできるだけお金をかけないような形で最大フルに活用するだけではなくて、自治会に働きかけて、今、自治会も大分だらしなくて、やっているかやってな

いかわからないところもありますけれども、こう言うと怒られちゃうかもしれませんけれども。ですけれども、そういう対策を行政の立場としてどんどん浸透させていく。そういうことを通していい方向に向くんじゃないかなと考えているんですが、具体的な対策等はお考えなのかお聞かせいただければと思います。

☆市民部長

市民部でございます。今、医療費の増加を防ぐための老人の健康増進ということで、また健康予防ということでございます。

医療費等につきましては、年々増加の一途をたどっているというのが現状でございます。そういう中で、市では極力ジェネリック医薬品をお使いいただくように、これは国民健康保険の受給者等、また加入されている方については、チラシなどを昨年度は2回、今年3回ということで差し上げております。その価格はどの程度になりますよということで、これは強制ということではないんですが、参考にいただければということで、医療費等を少しでも抑えたいということも当然やっております。

そういう中で高齢者の予防ということになるんですが、当然、高齢者、今、介護のお話もちよっとされましたけど、要介護状態にならないように、今いろいろやっていかなくちゃいけないということで、対象者の把握の事業も行っております。当然そういう中で65歳以上の介護保険認定を受けていない方全員にアンケート調査等を行って、どの程度の体の状態になっているかということを行っております。そういう中で各種運動機能の向上教室などを開いている状況です。

また、認知症ということも出たんですが、そういう認知症の方をさらにサポートする、そういう養成講座等も行政のほうでやっております。そういう方を少しでも多く増やしまして、認知症の方のサポートをしたいということで、施設等じゃなくて、認知症の方を在宅でお世話するというのは実際大変なんですが、極力地域でお暮らしできるように、そういうサポーター養成講座等を実施しているという状況でございます。

以上です。

◆質問者3

思うのは、単発的に行事を決めてもあんまり意味ないと思うんですよ。そんなにお金をかけなくてもいいと思いますので、地域の人材活用というんですか、その辺を充実させるのと、この間の広報にも自治会の加入者が少なくなったとかというのもし出ていましたけれども、自治会で何もやってないから、多分魅力がないんだと思うんですよ。ですから、そういうところで防災関係のことをやるとか、それから健康増進のそういうものをやるとかいうのを、市のほうからどんどんいろんなものを提供し、やっていけば、そんなにお金もかからなくやれるんじゃないかなと思っています。

ですから、イベントでやっているとしても、きょうのこの会合を見てもらうとわかりま

すけども、150人のキャパのところ30人ぐらいですよ。ですから、住民の意識の問題も多分あると思うし、企画してもエントリーされる方がどの程度の人数か私も把握していませんけれども、草の根じゃないですけれども、日々のそういうもの、歩け歩けみたいなものでもいいですから、そういうものをもっとやっていったほうがいいのか。

それで、先ほども言いましたけれども、地域住民の中にもすごいノウハウを持った方がいっぱいいると思うので、手弁当でいいと思うので、どんどんボランティアで活用したらどうかと思いますけど。意見です。

☆市民部長

今のご意見を参考にしまして、また今後、地域の自治会をはじめ各種団体等、地域にいらっしゃいますので、そういう方を活用させていただいて、ボランティアとしてご協力いただいて進めていきたいと思っておりますので、またよろしく願いいたします。

以上です。

◆議事進行者

よろしいですか。

では、次の方どうぞ。

◆質問者4

高師の〇〇です。2つ伺いたいします。

まず第1は広報の10月1日号ですけれども、そこに行財政改革大綱ということで報告事項が出ています。そのうち基本目標は次の3つであると。さわやかで開かれた市政の推進、12項目。2番目は市民にわかりやすく簡素で効率的な行政運営、これが15項目。3番目が積極的に創意工夫あふれる職員の育成、5項目。この3つが出されていて、さらに詳しいことは市のホームページに示してありますと書かれています。

問題は、このホームページというのはパソコンを使う人だけを対象にして報告されているのではないかなと。多くの方はパソコンを使っていないということをお忘れにならないでほしい。別に私はゴネているわけじゃありませんけれども、そういう大きな重要な問題が抜け落ちているような気がします。

ですから、この報告事項はいつごろ、どのようにして、さらに詳しい報告がなされるのかということをお伺いしておきます。それが第1点です。

それから第2点は、皆さん既にご存じのように、安倍総理を筆頭にして、日本政府は女性が輝く社会をつくろうということで、女性の管理職を大幅に増やそうと。できれば40%以上ぐらいを女性管理職にしたいということが盛んに報道されています。

私は数年来ここに参加させていただいておりますけれども、前に座っていらっしゃるお偉方の中に女性を一度も見たことはありません。で、問題は、重要な管理職というのはど

のようにして、何を根拠に選ばれるのか、それが本当に正しいやり方なのか、そういうことについて伺いたいと思います。

☆総務部長

総務部でございます。まず、1点目でございますけれども、おっしゃるとおりでありまして、行財政改革大綱の実施計画、今回は第6次の計画になるのでございますけれども、この公表の仕方がホームページを基本として公表しております。したがって、インターネットの環境のない方はごらんいただけないという状況にあります。来ていただければもちろんお見せはできるんですけども、それでは不十分だと思いますので、お知らせする方法について検討いたします。できるだけ早期に行うようにいたします。

それから、次に女性管理職の件でございます。これは今、女子職員を管理職にどんどん登用していくという基本的な考えは市も持っておりまして、そういう目標のもとに今動いております。

だれをどういう基準でというのはお答えが非常に難しいんですが、基本的には新規採用されまして、いきなり管理職になるわけではございませんので、一定の経験年数を満たした中から、一番最初のステップとしては係長という職がございます。その次が管理職に分類されるところになるかと思います。そこにおいては適材適所ということでやっていくわけでございますけれども、その際にできるだけ女性を登用するという基本的な考えは持っております。

ただ、地域性といいましょうか、考え方の歴史的な変遷といいましょうか、女子職員の側にそういう心構えが十分にできてないケースがまず1点あります。したがって、管理職員に登用しようとする、しり込みをしてしまうというのが1点あります。それから、例えば一つの課の長などにしようとする年ごろには、家庭での親御さんの世話など、早期に退職してしまう女子職員がおります。主にこの2つの要素で、なかなか数が増えていかないというのが現状であります。

このことにつきましても、女性をどんどん登用していくという考え方は基本的に持っておりますので、1つは若いうちから男性、女性の区別はないんだという意識を植えつけるところからやっていきたいと思っておりますので、今後はそういう管理職の女性をさらに増やしていきたいと考えています。

以上でございます。

◆質問者4

ありがとうございました。

◆議事進行者

他の人、いらっしゃいますか。

◆質問者 5

〇〇です。よろしくお願いします。先週もちょっと出席させていただいて、お答えいただいたんですけど、今週はちょっと違う点をお聞きしたいと思います。

先ほど市長さんから企業撤退があつて、その後、ジャパンディスプレイがフル稼働して、市としては万々歳というお話がありましたけど、過日、ジャパンディスプレイの深谷工場が撤退するという報道がありました。深谷工場を撤退して、その機能を茂原工場に持ってくるとかというお話ならいいんですけど、海外進出を視野に深谷工場を閉めたとかであれば、茂原工場はいつそういう海外に行ってしまうか不安な面があります。個別企業のことなので、詳しく市の方がそこまで情報をつかんでいらっしゃるかどうかあれなんですけど、ジャパンディスプレイがもし茂原からいなくなったら、また大変な騒ぎになると思いますので、現時点で教えていただける範囲で、その辺の情報をどの程度つかんでいらっしゃるかお聞きしたいと思います。

☆経済環境部長

経済環境部でございます。市長から答えれば一番いいんでしょうけれども、新聞報道によりますと、深谷のほうを撤退して茂原に集中させるということで、私どもは詳しい情報はわからないんですけども、新聞報道と突き合わせますと、今のＪＤＩさんの考え方は茂原のほうに集中するという考え方みたいです。その程度しか今のところは、それ以上の情報は入ってきておりませんので、また企業のほうと連携してというか、相談というか、訪ねてみたいと思います。それで、もしも茂原からも撤退しちゃうようなことになると、おっしゃるように本当に困りますので、そういうことがないように、また市長を含めてＪＤＩさんのほうに相談というか、要望、お願いに行っていきたいと思っております。

◆質問者 5

ありがとうございます。

それで、関連してなんですけど、よくわかりませんが、ジャパンディスプレイさんは新しい設備を設けたんですか、それとも従前のパナソニックさんの施設をそのまま使われていらっしゃるんですか。

☆経済環境部長

新しい設備投資をしました。２，０００億円ぐらいになりますので。

◆質問者 5

そうしますと、現状としては市の認識は長期的に茂原工場は安泰だというふうに。

☆経済環境部長

安泰とまではいかなくて、私どもそういう情報がよくわからなかったんですけども、ジャパンディスプレイさんって、要はスマートフォンのガラスの基板をつくっているんです。そうしますと、1つの製品をつくっているわけではないんですよ。スマートフォンの製品ができて上がる中間の一部材をつくっているということで、最終的には中国ですとか、そういうところで生産していますので、ある程度部品提供になるということで、あの業界についてはかなり浮き沈みが激しいということで、株式がこの3月から公開されましたけども、公募価格をかなり下回って、この間も市場でストップ安になりまして、そういう面では経営的に安泰というよりも、市としても心配はしております。

ただし、J D Iさんのほうでは先ほど言われた設備投資をかなりしておりますので、そういう面では今後も製品展開がよくなれば、海外での販売がよくなれば、上向きになってくるんじゃないかなと思いますけども、経済の状況で、それ以上のことは何とも言えないんですけども。

◆質問者5

ありがとうございました。

あと1問よろしいでしょうか。先週もちょっとお聞きしたんですけど、先週は質問の締切が先月の15日までということで、それ以降こういう会があると気がついたもので出してなかったの、ご回答のほうもちょっと難しいところはあったと思うんですけど、25年度から始まった下水道事業が東部台で再開になりました。先週も申し上げたように、今の危機的な茂原市の財政健全化途中のところ下水道事業をやることの効果、そういうものをどういうふうに考えていらっしゃるんですかとお聞きしたら、先週は住民ニーズがあったからということだったです。事前に聞きたいことを出してなかったですから、それ以上私もお聞きしなかったんですけど、茂原市に対してどのような効果があるんですかということに住民ニーズがあったからというのは、こちらでお聞きしたいこととかみ合っていないわけですよね。1週間たちましたので、その辺、佐久間さんのほうも頭の整理されたと思いますので、もう一度お答えいただければと思います。

☆都市建設部長

先日はお答えが不十分で申しわけございませんでした。1つは財政上の問題といたしましては、先週もお答えさせていただいたと思うんですけども、下水道事業そのものを5年間中止したということで、下水道事業につきましてはかなり財政状況がよくなった中で将来的に検討した中では、大丈夫だということで始めさせていただいたということと、東部台地区全域をやろうということで始めたものを途中で中止ということになったので、残りの東部台地区をやらせていただきたいという話で今回やっているということ为先週お答えさせていただきましたんですけども、やる意味とか、意義とか非常に難しいところもある

んです。それで、下水道につきましては、家が多く建って密集しているところをやるのも非常に意義があると考えておりまして、東部台地区は現在、区画整理で整備されて、家もかなり建っておりますので、下水道をやるには意義がある地区だと考えております。

下水道ですと、合併浄化槽と比べて水質は下水道と変わらないということで、今そういうふうになっているんですけども、どうしても流す先が道路側溝とかになってまいりますけども、下水道の場合は直接管に放流して、処理するという形式でございますので、生活環境も非常によくなるということで始めておりますということで、そのような観点も含めて、東部台地区については再開させていただくと。正直なところ全体でやるということをお示しして、当初始めた中で、東部台で1丁目をやって、2丁目の一部でとまっているような状況がございましたので、もろもろ検討した中で始めさせていただいたということでございますので、よろしくご理解のほどお願い申し上げます。

◆質問者5

先週も申し上げたんですけど、市街化になっているところをやる意義があるというお話なんですけど、先ほども部長さんが言われたように、皆さん住んでいる方は合併浄化槽を使われて、U字溝、道路側溝には流していますけど、実生活では困っていないわけで、そこで財政が厳しい中で、どうしてそういう多額な貴重な財源が投入される下水道事業を再開しなければいけないのか。ほかに耐震化とか、橋の改修とか、必要な事業をもっと積極的に集中して投入するべきものがあるんじゃないかと思うんです。東部台を始めちゃったから、最後までという話もありましたけど、その辺の考え方をもう少しわかりやすくご説明いただければと思うんですが。

☆企画財政部長

企画財政部でございます。財政を担当しております。その上で、先ほど都市建設部長から話がありましたけど、平成18年から22年の5年間、財政健全化に取り組みまして、いろんな補助金をカットしたりして皆様にもご迷惑をかけました。その中でかなりの経費削減で、それをやらないとかなり市は危機的な状況だったんですけど、その5年間人件費を削ったり、皆様の協力の中で財政運営が持ちこたえてきました。そういう中で、本来であれば、平成18年のときに東部台の今やったところをやらなくちゃいけなかったんですけど、あえて5年間我慢していただいたところでございます。

それで、一昨年ぐらいから財政的に多少、余裕のところまではいかないんですけど、以前よりは好転した中で、下水道は全部一般財源でやるわけではないので、かなり長期の中で5年、6年かけて東部台をやります。起債って借金なんですけど、後年度負担を皆様に負担していただくわけなんですけど、少し時間をかけて財政的にやれるということで今回ゴーサインを出して、残りの部分をやらせていただいております。

◆質問者 5

先週、市長さんが800億円の借金が600億円まで減ってきましたと。これ頑張りましたとかいうお話をされていましたが、今、起債を起こされるということで、それは当然、600億円にまた追加ということで、増えてくる項目になってしまうわけですね。

☆都市建設部長

下水道につきましてはその辺のところも考慮し、返す分と新たに借りる分を見ながら、起債そのものが下水道の借金が増えないような形にして事業を再開していくというのを基本的な考え方として始めました。

◆質問者 5

そうしますと、借金の額は下水道事業によっては増えないということでよろしいですか。

☆企画財政部長

下水道だけで借金が八十数億あるんですけど、そこも含めつつ、ほかのところの下水道の部分の返済が終わりましたので、返す部分は多少時間がゆっくりになっちゃうんですけど、今よりは少しずつ減っていくような形で、増えるような形にはならないかと思っております。

◆質問者 5

ありがとうございます。

じゃ、最後に。東部台が終わったら、下水道事業は今度どの地区を考えていらっしゃるんですか。

☆都市建設部長

今現在としては、次、どこやるかというところはまだはっきり決まっておりません。ただ、全体として事業をしていいよという国の認可を受けて、とにかくその中から選んでやっていくというふうにやっておりますので、もしやるとしたらばその中からということになるとは思いますけれども、今のところは次どこということは検討しておりません。

◆質問者 5

ありがとうございました。

◆議事進行者

ほかにございますか。

じゃ、皆さんこれで一たん休憩をいたします。ちょうど45分ですから、2時50分に

再開したいと思いますので、よろしくお願いいたします。5分間休憩いたします。

(休 憩)

◆議事進行者

では、2時50分になりましたので、後半の部を再開したいと思います。

休憩後の議事進行は、私、〇〇が担当しますので、よろしくお願いします。

では、再度申し上げますけど、発言なさる方は挙手していただき、お名前または団体名をおっしゃってください。また、質問要旨はできるだけ簡潔にお願いします。

では、再開します。

◆質問者6

高師の〇〇といいます。広報が出たすぐなので、ちょっとお話ししたいと思います。土地開発公社はまさにこのとおり借金があるから、みんなで頑張りましょうよと。そのとおりでしょう。お約束ですから、借りた金は返さなくちゃならない。それはそのとおりです。それで、みんなで頑張りましょうよと。

次に、先ほどの市民が持っている人的な資源を有効活用したいというのは、私もずうっといろんなところで提案しているんだけど、市役所の行政を応援したいよと。私もここで育ってここで死んでいくんですよ。ですから、茂原の地方行政については非常に関心がありました。こういうことをやっていきながらずうっと追いかけてきました。ですから、土地開発公社の債務保証問題処分をずうっと追いかけてきましたけど、これはある意味で決まりました。これは借金を返さなくちゃなりません。みんなで頑張りましょうと。借金は返します。

次に、5ページの一番下のほうにいろいろと指標があるんです。要するに茂原市は健全な状況にありますよと。これでいうと、確かにこの数字はそのとおりなんです。計算式はそのとおりなんですけど、アメリカで鋼鉄製の橋桁の橋が落ちて、大きな事故が起きました。そのときより前に私は、我々が茂原市が保有する鋼鉄製の橋桁の橋は早いところ手当てしなくちゃね。橋をかけて、全く手当てしていません。ということは、鉄ですから、しっかり塗装してメンテナンスすると、東京なんかは100年もたった橋がちゃんと機能しているんです。ですから、私どものところも厳しい財政の中なんですけど、私なんか随分前から提案しているこれが日の目を見ないということ。

これは財政の比率が非常にいいですよというのは、市役所の人答えるのは非常に難しいんですけど、要するに歳入はちゃんとあります。金が入ってきます。そうすると、橋は下げても、道路が波打っても、金を出さなければ指数はちゃんとよくなるようになっていくんです。要するに入ってきた金をみんなに我慢してもらって、公共設備が劣化しても手当てしなければ金は残ります。そうすると、指数はよくなります。

ただ、そこで答えるのが非常に難しいと思うんだけど、どういう状況が、千七百幾ら市区町村は全国にありますけども、どういうところが本当に悪くて、どういうところがいいのか。というのは、公共設備かなんか手当てして、予算をいっぱい使っちゃっているところは指数が非常に悪いと思いますよ。茂原みたいにやらなくちゃだめなものをずうっとやらなければ金が残りますから、指数はいいです。これは比較のしようがないものだから、これから頑張って何とか元気にしたいと思っているんだけど、この辺の捉え方は行政は横並びで物を見えています。ですから、どこかの県の何とか町だとか何とか市はしっかり道路も橋も公共建物も手当てして、財政の状況の指数が悪いのか、何もやらないで指数がいいのか、この辺ちょっと考え方を伺いたいと思います。

以上です。

☆企画財政部長

皆様お手元にないかもわからないんですけど、〇〇様が話された指数は実質公債費比率というのと将来負担比率というのが広報の今月の5ページに載っております。

まず言葉の説明で、実質公債費比率。読ませていただきますと、茂原市や一部事務組合が負担する地方債の返済額である公債費及びこれに準ずるものの当該年度の額が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になりますかという指数です。

もう一つが将来負担比率で、茂原市や一部事務組合等が将来負担すべき実質的な債務が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかをあらわすという数字でございます。

最初の実質公債費比率なんですけど、実は茂原市では悪いほうから2番目でございます、この数字です。千葉市が1番で、その次が茂原市です。ですから、毎年いろんな借金を返せば返すほど負担の比率が上がっていくわけです。ですから、茂原市の場合には着実に返していますので、ある程度数字は上のほうにどうしてもいってしまいます。

それともう一つの将来負担比率、これも県下で4番目に悪いです。順番でいうと千葉市銚子市、富津市、次が茂原市でございます。ですから、決して数字的にいい数字ではございません。

ですから、財政的に以前と比べると貯金ができるようになったということで、県下の一般的な市町村にやや近づいてきたと。まだそれでも下位のほうでございます。ですから、この辺は少しずつではありますが、皆さんの協力を得ながら、また税収の確保とか、比率を少しずつ下げていく。ですから、まだ楽観視するようなところではございません。

以上でございます。

☆都市建設部長

財政の話ではないんですが、今お話がございました橋の問題も落ちたとかという話もあって、皆さんご心配されているところがあるんだろうと思うんです。そちらについてご説明をさせていただきたいと思います。

今、一義的に橋桁ということで、地震とかで落ちないような対応を一通りやったところでございます。これにつきまして川の中に柱が建っているところを除いて、端から端まで、川の堤防から堤防まで1回できている橋については全て終わりました。あと、それとあわせて、長寿命化ということで今お話がございましたように、塗装ですとか、そういうことも含めて今始めたところでございます。それにつきまして道路法が今度変わりますて、橋ですとかトンネルですとか、道路に付属の構造物、道路についている構造物については5年に1回点検して、その内容によって補修しなければならないということで義務化されましたので、そういう形に基づいて今後計画的に補修をしていきたいと考えております。よろしくをお願いします。

◆議事進行者

その点いかがですか。

◆質問者 6

基本的にはいいんだけども、ほかの市町村と比較した我のところは本当に公共的な、さっき言いました建物だとか、道路だとか、橋だとか、いろんなものが我らが茂原市はほかの市町村と比較して遜色ない状態で保持されていますか、どうかというのがわからないと言っているんです。

◆議事進行者

その点についてお願いします。

◆質問者 6

いや。茂原市では建物も管理している、道路も管理している、橋の管理している、あらゆるものを管理しているわけね。そういう一切のものを含めて、市の財政で賄っているわけですね、全部。そうすると、ほかの低い山の中の山林はいずれにしろ、茂原市と平準的な市と比較したときには、我らがところの公共設備の適正な管理の状況というのは、遜色がないような管理がされているのかどうかということを聞いている。

☆副市長

副市長の永長でございます。その点につきましては表面な指標というのがないので、今お答えは難しいんですけども、逆に言いますと、どこの市町村も今、橋梁についても、道路についても課題になっておりまして、どこでもそういう計画を立てて随時直していくようになっていると思います。また、ちょっと直近を調べようと思っておりますので、茂原市の近隣のところだと、3・11の震災の関係で具体的な施策を検討しているところがございますので。

◆質問者 6

そうじゃないですよ。設備について言っているんです。

☆副市長

設備の管理につきましては、標準的にやっていると考えています。

◆議事進行者

よろしいですか。

◆質問者 6

いや。これ以上答えようがないんだと思いますから、ちょっと調べてください。

◆議事進行者

今ここでは答えられないでしょうから、調べてくださいというお話がありました。いかがでしょうか。

☆副市長

ですから、基本的な計画はこれから立てまして、他市との比較というのは状況がそれぞれ違いますので、比較してもしょうがないです。それよりも安全で効率的な施設管理ができるように、茂原市としての計画を立ててまいります。

◆質問者 6

お言葉はあれですけど、比較してもしょうがないという言い方はないと思うんです。

☆副市長

現実にこれは難しいので、茂原市としての長期の計画を立てて。

◆質問者 6

具体的に言うと、茂原の道路を市原に入ればまるっきり変わっています。市原は工業団地だとかいろいろあるから、そのとおりなんだけど、隣の市原に行ったらぱっとそう思ったんですよ。これほど違うということです。財政が豊かだとか、そうじゃないとか、それは確かに認めますよ。認めるんだけど、地方自治法でいえば平等なんですよ。同じ地方自治体なんだから。だから、財政のあるところはいい状態で設備を保全しているでしょうと。我々が茂原市は長年の間、財政が厳しい状態だから、今の状態で我慢しなくちゃだめというのは、さっきから言っているように設備の状態と比較したらどうですと言う。財

政は大きい小さいあるんだよ。それは後でやるつもりがあるのかどうか、それだけ教えてください。

☆副市長

今おっしゃった何かをやるかということですが、具体的にどういうことですか。ちょっと聞き取れなかったの。

◆質問者 6

だから、先ほど来言っているように、建物の維持管理だとか、道路の保全状況だとか、橋梁の状況だとか、ほかの市町村と比較して、メンテナンスはどういう位置づけになりますかということを行っている。

☆副市長

繰り返しになりますけども、比較は難しいので、それじゃなくて、市としての施工後の長寿命化のメンテナンスは問題ないようにやっていきたい。そういう中で他市のを参考にすることはあるかもしれませんが、単純比較というのはなかなか難しいので。

◆質問者 6

この指標というのは、まさにこれをあらわしているんですよ。指標というのはつくりようがありますからね。要するにさっきから言っているように、歳入がありました、いろいろ事業をやりました。そうすると、歳出幾らになりました。それから、地方債なんぼ発行しています。いろんなものの比較でこれは出ているんです。要するにさっき言ったように、財政は厳しいと言いながらも、建物の耐震化だとか、橋梁の手当てだとか、道路の補修だとかいろいろやれば、それは指数は悪いかもしれないけども、そこはちゃんと設備の維持管理をしているんです。

だけど、そういうのがほかのあまたある地方自治体の中で我らが茂原市というのは、さっきから言っているように、メンテナンスの状況が、ずばり言えば世間並みにやっていますよと言えば、ああ、なるほどかなと。財政が厳しい状態なんだけども、設備の保全・管理のために一生懸命頑張っているのか。それはこの指数との関係、金を使ってちゃんと維持管理するかどうか。

だから、そこで私がさっきから言っているように、ちゃんとやっているものはやって、金を使ったら指数が悪くなったところもあるでしょうし、使うべき金を、道路も橋も建物もあんまり面倒見なかったよと。でも、それは金が残ったから、この指数はよくなりましたよと。こういう三角関係なんですよ。だから、行政比較というのは横並びが好きだから、ほかの市町村と比較してどんな状態なのかというのは、その気になればできるでしょ。

☆総務部長

総務部でございます。先ほどから副市長がお答え申し上げていますが、例えば1つの福祉センターがあります。例えば同じ年にどこかほかの市でも福祉センターを建てました。同じ年数だけ経過して、茂原市は一体どれだけの維持管理費を費やし、ほかの市はどれだけの維持管理費を費やしたので、茂原市の使ったお金というか、今の施設の状態はよそと比べてどの辺になるんだという指標は残念ながらございません。ですから、そういう意味でほかの団体との比較はできないと申し上げたところです。とはいえ、都度都度不具合が生じたところは、例えばエアコンは動くようにしている、壁がはげたら塗る、雨漏りは直すというふうな必要な補修はやらせていただいているという実情でございます。

もう少し大きな話で、新聞報道等でご承知かも知れませんが、豊かな時代に次々に建てた、いわゆる箱ものと呼ばれる公共施設、それらは同じ数年の間につくっていますから、みんなまた数年の間に耐用年数になってしまう。これが全国的な問題で、これを更新という呼び方をしますが、更新という場合は建て直しを、それから大規模改修という相当な大きな手入れをするという2つのやり方があるかと思いますが、そういうのに多額の財源が必要なので、何とか検討しろというふうになっているわけです。

たまたまですけど、茂原市でいいますと、いわゆる箱ものを今の現状のままでやっていると、今後40年で1,000億円かかるという、これは総務省が計算の仕方として仕組みを提供した非常に粗い試算なんですけども。そうしますと、40年で1,000億円という話ですと、単純に割ると25億円という話になるわけです、毎年。そこで今年度から3年かけまして、まず茂原市の公共施設の現状を洗い出しまして、それを今後どう管理していくか。その管理の中身が問題なんですけど、数を減らしたり、位置を動かしたり、2つを1つにしたりということも、当然、人口が減っていくということもありますから、今年度から3年間でその計画をつくることとしております。

答えになっているかどうか分かりませんが、現状はそういうことでございますので、よろしく願いいたします。

◆議事進行者

まだ質問を続けたいと思いますけど、ほかの方がいらっしゃいますものですから、ここで中断していただいて、ほかの方から質問をお願いします。いかがでしょうか。

◆質問者7

緑ヶ丘の〇〇といいます。質問というよりも情報提供なんですけど、さっきのジャパンディスプレイの件で、私も興味があって、新聞とかインターネットで先日調べました。確かに株価が下がって3,500億円分吹っ飛んだって、それで結構衝撃を受けて、よく調べたところ、まず埼玉の深谷工場はラインが古いので生産性が低いから、そこを集約して、400人いるらしいんですが、茂原工場に配置転換するそうです。ただ、全員かどうかわか

らないんですけども、ジャパンディスプレイの茂原工場というのは一番大きい工場で、最新鋭の技術と設備を備えている茂原工場に集約して、固定費70億円を削減するらしいです。

ただ、工場を閉鎖するのに100億円コストを上積みするのでマイナス100億円になったのと、あと黒字が350億円の来期3月の予想だったのが、どうも100億円の赤字になるらしいんですが、その100億円の赤字というのが、1つは深谷工場を畳むのに100億円かかると。もう1個の要素としてアップルのiPhone6の出荷スケジュールがずれ込んで、パネルの生産がおくれたそうです。ジャパンディスプレイというのはアップルへの依存度がすごく高くて、4割ぐらいアップルの液晶パネルをつくっているのが、それがずれ込んだそうです。ご存じのとおり、iPhone6というのは今すごい人気で、予約してもなかなか手に入らないぐらいの人気の、特に中国のほうがおくれて、パネルの生産がおくれたと。で、株価が下がって、3,500億円吹っ飛んだらしいです。

ただ、これは4月－6月期が赤字になって、そのせいで来期3月も100億円の赤字なんですが、iPhone6の生産と中国向けのスマホの液晶の販売が本格化するので、一応今期は赤字だけど、来期はアナリストによると、またもとの水準、400億円ぐらいの黒字になるのではないかというふうに新聞とインターネットに出ていました。

ですから、茂原工場には何がしか従業員さんが来るらしいので、ちょっとびっくりしたというか、悲観的になったんですけども、ちょっと明るい兆しのある記事が出ていました。以上です。

◆議事進行者

明るいお話、ありがとうございました。

ほかに。

◆質問者8

長清水の〇〇です。水害の被害を軽減するというのは自己責任でやるしかないというふうに考えているんですけども、残念ながら情報が足りなくて、自己責任で判断するには非常に難しいところがあります。

それで、提案なんですけども、市のほうで水害対策のタイムテーブルをつくっていただければ、市のタイムテーブルに合わせて地域の災害対策のタイムテーブルをつくる。ここまでできれば、地域の各個人が、例えば台風の状況に応じた被害軽減の行動ができると思っています。市でタイムテーブルをつくっていただければ、地域でタイムテーブルをつくりたいというふうに考えているんですけども、市の考えはいかがでしょうか。

☆総務部次長

災害対策事前の情報というお話の中でタイムテーブルという話がございました。今回、

台風18、19号が来まして、それに備えるということで、市ではタイムラインといって、1週間ぐらい前から何をやっていくかというのを共有してまして、各対策部がそれに基づいて何をしていくのか。例えば内水対策のところにはポンプがありまして、そのポンプが稼働するかどうかの確認に入ったりとか、あとポンプがないところには仮設のポンプを持っていける業者に依頼をするという話を早い段階からやっていて、今回も結局よかったです。空振りだったんですけども、そういう準備を進めてきました。

そういう中で、市も今回から気象情報をウェザーニューズ社というところからもらっているんですけども、より綿密にもらうような協力も依頼している中で、それを察知してやっていくという形になっています。

あと、自治会のほうにという話は、今後また検討していきたいと思います。

◆質問者8

ぜひ自主防災会とか自治会のほうに、市のタイムラインを共有するようにしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

◆議事進行者

どうもありがとうございました。

もうそろそろ予定の時間になりますので、最後、1名だけお願いします。

◆質問者9

早野の〇〇と申します。最後、図書館のことでちょっと聞きたいんですけど、図書館の中に市長から何人かの写真が写っていましたが、あそこは図書館ではなく、サロンみたいになっているんです。あれは図書館という感じがしないんですけど、あれはどうなんですか。ちょっとそれを聞きたいんですけども。

◆議事進行者

じゃ、最後の答弁ということでよろしゅうございますか。

◆質問者9

お願いしたいんですけども。

☆教育部長

教育部でございます。よろしくお願いします。

図書館につきましては、八千代町にありました図書館をサンヴェルの6階に7月20日に移転し、オープンさせていただきました。毎日、多数の市民に現在利用していただいているところでございます。図書館の構造上の問題としまして、ワンフロアになっておりま

すので、音等の問題で非常にご迷惑をかけていることは十分承知しておりますけれども、ご理解いただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

◆質問者 9

図書館のほうの壁とか、あと図書館じゃないような感じがしますけどね。子供が遊び回っているし、うるさくて、図書館という概念というのがありますか、役所は。図書館って何ですかね。私はちょっと聞きたいんですけども。

☆教育部長

図書館につきましては、市民に対しましていろんな情報を提供している場として捉えております。したがって、皆さんの必要な情報に資する本、あるいはCD、いろんな情報ツールが整備された流れの中で市民によりよい情報提供をして、生涯学習を推進する場としてご利用いただきたいと考えております。

◆質問者 9

中で携帯電話を使っています。中でコーヒー、ジュース、飲食しています。フロントでは電話がじゃんじゃん鳴っています、朝から。奥まで聞こえます。こういうのは普通のサロンと変わらないんですけども、これが図書館と言えるのでしょうか。表のところで携帯電話でみんな話しして、奥まで聞こえます。禁止も何もありません。子供はぎやあぎやあ30分泣いていて、だれも注意しません。携帯電話でうるさいから、学生が今度携帯電話をしているんですね。これは図書館ですか。図書館の定義というのは何でしょうか。静かなところでないんですか、図書館というのは。学生がぎやあぎやあ騒いで、子供が30分泣いてもだれも注意しない。電話がががが鳴る。こんなの図書館じゃないですよ。図書館やめたほうがいいですよ、あんなところ、もう。サロンにしたほうがいいですよ、サロン。中でみんな食べ物を食べて、飲んで、しゃべって、これは何ですか。

設計はだれがしたんだか知りませんが、これは多分、市長が全部決めたことでしょう。田中市長さん、お願いしたいんですけども。最後にこれでもう質問やめますけども、とにかくうるさくて、だから図書館はやめて、サロンにしたほうがいいです。お願いします。

☆市長

図書館については水害に遭いまして、急遽また同じような水害に遭うケースもかなり想定されましたので、緊急にサンヴェルに移させていただきました。この件に関しては前から市内でずうっともんでいたんですが、公的な機関、行政が図書館をやったほうがいいのか、あるいは民間ベースに任せたほうがいいのか、いろいろと情報を取り、またもんだ中で図書館流通センターというところが名乗りを上げ、何社かあったんですけども、その何

社かの中でプロポーザルによりまして図書館流通センターに建設していただいた経過がございします。

したがって、行政側としてはできるだけ、〇〇さんがおっしゃるようにおとなしく、そして肅々とやっていただくという要請はもちろんしているはずなんですけども、運営を今言った図書館流通センターに一任させておりますので、この辺はまた持ち帰って、私のほうから、あるいは、教育がやっておりますので、教育のほうから話をさせていただこうかなと思っております。

これは〇〇さんがおっしゃるとおり、私どもにも責任があると思っておりますので、この辺は強く申し入れをしたいと思っております。緊急避難的にちょっとやっておりますけども、将来的に恒久的にあそこに図書館を置くかということはまた別の話でございしますので、この辺は庁内でももう1回じっくりと話をもんで、進めさせていただきたいと思っております。

ただ、茂原市内だけではなくて市外からも、実を申しますと、この周りですと茂原市しか図書館がないものですから、何とかオープンにしてくれないかという要請もございましたので、駅近のサンヴェルに移したということでございします。利用状況はかなり増えてはいるんですね。前の図書館と比べますと増えてきておりますし、それから利便性もいいということで、それなりに評価はいただいております。〇〇さんはサロンのと言いますが、その辺は使っている利用者の考え方にもよるかなというところもありますので、この辺もきちとした形でもう1回申し入れをし、また再考できるところは再考してもらおうということにしたいと思っておりますので、ご理解をしていただきたいと思います。

◆質問者9

じゃ、済みません、最後のあれで。利便性なんか全然よくないですね、あそこは。前の図書館はみんな車で来ていました。だから、いっぱいいましたよ。今のところは全然いません。車でお金を取られて、みんな駐車料を取られますね。駐車場から遠い。だから、結局学生しかいないんですね。だから、もう図書館じゃないですよ、あそこは。決めた時点で、これ、たしか広報に載せたと思いますよ。あれ、全部市長が決めた、このつくり等は。だから、何でこんなつくりになったんですか。図書館って静かなところで勉強とかするあれですけども、もう全然、ぎゃあぎゃあ、お菓子はばりばり食っているし、こんなことじゃ、とてもじゃない図書館とは言えませんので、もうちょっと何とか。前の図書館のほうはまだよかったと思いますね。今は本当に学生ばかりで、みんな来てはいますが、もうちょっとできることはやってほしいと思います。お願いします。

☆教育長

〇〇さん、図書館で子供が走り回っているとか、あるいは話し声がしてうるさいとかいうことでご指摘いただきまして、ありがとうございます。

私どももまずこの件については実態を把握して、さっき市長からございましたように、図書館流通センターというのが管理運営をしていますけども、向こうの責任者とよく話し合いをして改善するというふうに努力をしてまいりますので、よろしくお願いしたいと思っています。

それから、次に、あそこのあれは図書館じゃないんじゃないかというご意見もありますけど、あそこはもともと百貨店の飲食店があったところなんです。ですから、最初から図書館の設計になっていないということで、こちらは水害があったものですから、急遽あそこにつくったということがあって、それから〇〇さんのおっしゃるイメージしている図書館からちょっと遠いなということは、十分私ども納得できます。そういう点で恒久的な施設じゃなくて、今の図書館は前よりもあそこのほうが安全だということもあってやったものですから、多少我慢していただいて、これからまたもっといいものをつくるということもあると思いますので、よろしくお願いしたいと思っています。

なお、車の利便性という点でございますけれども、確かにあそこは車をとめて、ぐるぐると下において、また上がっていくといえ、そのとおりでございます、ご利用者には大変ご不便をかけるということがございまして、そういう中で東部台文化会館の1階にも図書室がございます。そちらには大分車の方々が行ってくださっていると聞いておりますので、そちらのほうもあわせていろいろお考えいただきたいと思っています。

そういう点では今後またうるさいとか、この辺がだめなんだよということがあったら、直接教育委員会のほうによろしくお願いいたしたいと思っていますので、よろしくお願いをします。

◆議事進行者

どうもありがとうございました。皆さんの中にまだいろいろご質問があらうかと思いますが、時間がありますので、これで本日は締め切らせていただきます。議事進行等いろいろありがとうございました。

では、本日の総括を市長のほうからお願いします。よろしくお願いします。

☆市長

長時間にわたりましてありがとうございました。いろいろな意見を聞かせていただきまして、またそれを施策のほうに反映させていきたいと思っております。

草刈りの問題が非常に難題でございます、特に高齢化が進んできておりますので、自治会の皆様方にもいろいろとお手数をおかけし、またお手伝いをしていただいておりますけども、この辺も何かうまい施策があれば、また一緒になって考えていきたいと思っております。

それから、医療費の増加は〇〇さんのほうから話がありましたけど、担当部署が言いましたが、意外と市民サークルの中では既に展開をいただいているところがござい

ます。特に保健センターの内部で動いているんですが、それを市民運動のような形で展開できないかという話をさせていただいております。ただ、これは難しいんですよ。そうはいっても、いざとなると参加する方が少なかったり、また思ったように進んでいかないというところもございます。

それから、行政側もいろんなところで言っていますけど、メッセージの送り方が非常に下手です、正直言います。いろんな手段を使うんですけど、広報とか自治会の回覧とか、あるいは先ほど〇〇さんから話があったとおり、パソコン見てないよというホームページでのお知らせとかあるんですが、いろんな手だてを使ってはいるんですけども、それでも全然広まってないというのが実態かなと思っております。そういった意味ではどんな機会でもいいから、情報の発信だけはよくしていけということもしておりますので、ご理解よろしくをお願いします。

それから、ジェネリックを使うということは、かなり医療費の引き下げにつながってくるわけですね。これは全国的な運動になってきておりますけども、沢井が茂原にあって、もっとジェネリックを使ってくれないかという話と、一方において、これはまだお医者さんの中にジェネリックに対するアレルギーを抱えている先生がいらっしゃいます。この辺は医師会との話の中でも出てくるんですけど、ジェネリックにかえてくれないかといった場合に、後発なので、後発というのは昔ちょっと事故があったんですね。事件があったということで、そこに一步踏み出せないお医者さんがまだいますので、この辺がジェネリックに切りかわらないところにも若干つながっているのかなと感じてございます。

ただ、今のジェネリックは全然問題ないと思っておりますので、医療費を下げるためにはそっちへ、どんどんとにかく前に進めていきたいということを言わせていただいております。

それから、女性が輝く職場にしてほしいと。〇〇さんからの提案でございますけども、先ほど言ったように、行政は全くやってないわけじゃなくて、女性を管理職に持ち上げようと思っていろいろやっています。やっているんですが、ポイントはさっき総務部長が言ったようなところで、女性のほうからまず引いていっちゃうんです。それともう一つは、女性になろうとしたときに環境があるわけですね。家庭の環境とか、いろんな状況があって、そこでうまくいかないケースが多々ございます。やっぱり重いから、やめさせてもらうということにもつながってきたり、実際にそういう話もございます。

ですから、その辺は非常にナーバスなところなので、行政側は全くそういうことをしようとしてないということはないです。むしろ女性をどんどんピックアップして、上のほうにつけたいという思いもありますので、その辺は誤解のないようにひとつお願いしたいと思っております。

それから、J D Iの話ですが、〇〇さんのほうから話が出たので、もうわかったかもしれませんが、茂原にはおそらく集約してくると思います。先ほど言ったように、400人深谷を閉めるので、その400人が茂原へ来るかどうかは別ですけど、わかりませんけ

ど、少なくとも100人か200人は来ると思っています。

先ほど2,000億円と言いましたが、茂原の最新鋭の工場、内部は全部変えました。したがって、この2,000億円がこの茂原に投資されたためにパナソニックが撤退、あるいは一番先に言いましたが、東芝コンポーネンツが撤退しても税収は下がってない。それが仮に来なかった場合、来ないケースもあったんですから、実際に。この間も話したと思いますけど、これは非常事態です。

ご存じかどうかわかりませんが、富津市が今、緊急避難的にいろいろ対策を打とうとしていますね。非常事態ですよ、富津は。富津自体は茂原なんかと比べると、さっきも言った、指数的にはいいんですよ。何でこうなったのかというのは、この間も話したように努力が足りないんですよ。それしか言いようがなかった。東電が撤退し、3・11で東電がああいう局面にありましたので、ですから東電としても苦しい中でいろいろな内部事情でやったと思いますが、富津市はそれはある程度読めたはずなんです。同じような財政運営、あるいは企業に向けてのメッセージの送り方、これができなかったために今非常時であります。

銚子、富津、僕もちょっとびっくりしたんですけど、何でこんな富津は悪くなっちゃったのかなと思うぐらいなんですが、これはまだまだ起きると思っています。確率的には非常に高くなります。なぜかという、合併しましたでしょ。3,500あったのが1,800弱になっているわけです。そのときに、前も話しましたが、合併特例債を使ったんです。合併して特例債を使って、かなり裕福になってきたんです。ところが、それは10年で切られるわけです。ペンディングして5年ぐらい猶予期間を設けるとは言っていますが、その後が心配ですね。だって、今まで全部国から交付税で補てんしてくれたものが、突然なくなっていくわけですから。だから、ここからは時限爆弾が破裂しなきゃいいかなというふうには見えています。

ただ、国の状況というのはああいうふうにじゃぶじゃぶに、金をただ、ばかすかやっていますから、一方においてはそっちのほうが心配で、したがって市長になってすぐ、茂原市の借金をとにかく減らそうということでここまでやってきましたけど、大きいですからね、600億という数字は。だから、この辺は、普通の行政マンとして感覚的には全く欠如していたのと同然だなと。茂原市へ帰ってきてびっくりしました。あまりにもひどいので。

学校を回って、幼稚園を回ったけども、これもひどかった。何にも手をつけてない。何にも手をつけてない大きな要因は、上へ報告しても上がもんじゃうんだそうですよ。だから、よくならないですよ。ハード面とか、すごくおくれていましたね。やっと耐震化はこれで終わりますけども、まだまだ、さっき言ったように市民会館なんかすごいですよ。毎日のように僕は会う人には、女の人には特に何であんな汚い市民会館なんかしているの。東金を見てくださいよとか言われるんですよ。してくたってできないのが今の現状で、それはやりたいですよ、僕だって。

ですが、これができなかったというのが歯がゆくて、僕も病気になりましたけど、そういうストレスというのは半端じゃないストレスが毎日のようにかかってくるので、この辺はできるだけ自分なりに伸ばそうと思っていろいろやらせていただいております。

それから、下水道は国の許認可を取っているわけです。東部台は許認可を取って、あそこはいいよということで始めています。これはさっき言ったように人口が密集しているし、それから何でも途中でやめちゃったんだという話なんですけど、それは借金がぼーんと増えちゃったから、これは合併もあつたんでしょうけど、それにしてもあまりにもひどい。やめちゃったので、途中で投げるにいけないから、じゃ、再開しましょうかという話で、単純に言うとなんな話です。

料金が上がるどうのこうのと言いますが、今、下水がなきゃ、この間も話しましたが、沢井製薬は来なかったんですよ。沢井はいまだに言っているんですよ。なぜあそこは下水の事業をやってくれないんだと。そういう根っこの部分でも、いろんなわからない部分がございます。だから、その辺は単純に料金が上がるとか下がるとか、あるいはもっとひどい話は、さっき言ったように、市街地の活性化で商店街に百何億円か突っ込んでいますよ。これを途中でやめちゃうと、そのかかった分だけ戻さなきゃいけないんです、国に。これは法律上そうなっちゃっているんです。だから、ここも法だと言っているんですよ。法律で縛られた行政運営というのは非常に難解な嫌らしい部分がある。〇〇さんはさっき何か言っていましたけど、これは非常に難解です。

ただ、最悪にならないようなケースで橋梁の点検、あるいは道路の補修、ここしばらくの間やってきていませんでした。橋梁は落ちることがないようには当然のことになってますね。それはそれだけやっぱり金をかけていますから、借金に切りかえれと言いますが、それは起債の部分なので、総体的には国とかからもらってやりますから、そんなにはかからないと思っていただきたいということ。

それと、水害のタイムテーブルなんですけど、これはできるだけ市民に発信するようにしていきたいと思っています。その辺は協力していただくようお願いしたいと思います。

ちょっと心配なのは、何度も言うようにですけど、一宮川はきれいになりました。この後も、今、県のほうで検討してもらっているのは、もう一つ調整池をつくろうという話が1つあるのと、それからかさ上げですが、今、ビニールシートでやっておりますけど、なんじゃい、あれはと言われていますが、あれも緊急避難的にやったのであって、あれをできればコンクリートにしようという話は既に進んできております。あれはレベルをはかって、30センチダウンしたんです。30センチにダウンした分だけオーバーフローしちゃったわけです。

だから、30センチでいいのかどうかというのも行政側からすれば非常に心配なので、これは僕の個人的な見解ですけど、できれば60センチか1メートルぐらいかさ上げをやっちゃって、そうすると長清水なんかは、逆に言うと内水があるので、その水をどうするかというのが今度宿題になるわけなんです。そこを同時進行でやらないと非常に難しいと

ということなので、ここら辺も検討して、今進めようとしています。

ここの地形的な問題として、県はすぐ地盤沈下と言うんですけど、ちょうどたらいみたいな形状に一宮水系がなっちゃうんです。水というのは下からやっていかないと滞留しちゃうわけです。今、100メートルの川幅にして、下からやってきています。これを継続してやってくれないかという話と同時に、堆積土は4万トンありましたからね、一宮川全部とるのに。最初、2万トンぐらいじゃないかと言っていたんですが、倍になっちゃったんです。その砂を今度捨てる場所の問題が生じたり、木の伐採とか、こういったものの処理費がすごくかかってきましたので、当初の予算スケジュールより全然足らなくなりました。無理無理言って、県のほかで使う予算をここに今回は充ててもらったということなので、相当県も今回無理してもらったのかなと思っています。

それだけじゃないんですよ。さっき言ったように、阿久川と豊田川も本当はやらなきゃいけないんです。これも早急にとにかくやってくれという話はしていますが、非常に難しいです。相当金を食うので。これ、じゃ、市でやっちゃえよという話なんですけど、先ほど言ったように県の管理なので、そこまで市がやることもないかなと。でも、やらなきゃいけないので、どうしようかなというのが今頭を痛めているところでございます。

それから、図書館の件に関しては、私があれを決めてつくったわけではございません。あそこは今、緊急避難的と言いましたが、前の図書館は水害に何度も遭っております。また水害に遭うのが何となく予見されますよね。皆さんそう思いませんか？そういう思いがあって緊急避難的に。もともとそごうの建物なので、どうなのかなというのもあったので、それはいろんな条件がありますけども、でも決めざるを得なかったといえますか、そういう形で動かさせていただいております。利用者は増えているんだよね。どのぐらい増えているの？

☆教育部長

来館者数は500人ぐらいです。日で。

☆市長

日500人ぐらい来館者は来ていますので、先ほど言われた指摘事項は先方にまた話をしますけれども、いろんなことが起きてきますから、この辺は冷静に対応してまいりたいと思っております。

本当に長時間にわたりましてありがとうございました。まだまだ申し述べてないところもあるかもしれませんが、お許しを願いたいと思います。どうもありがとうございました。
(拍手)

◆議事進行者

どうもありがとうございました。

最後に、事務局から皆さんにお知らせすることはありますか。

☆事務局

皆様お疲れさまでした。本日ご発言されなかった方につきましては、この会場の外に市長への手紙を置いてございます。またあと、各公共施設にも置いてございまして、ファックス、eメールでもお受けしております。何かありましたら、どうぞお気兼ねなく市のほうにお送りいただきたいと思います。

以上です。

◆議事進行者

では、皆様のご協力で、滞りなく議事等を進行してもらうことができました。どうもご協力ありがとうございました。(拍手)

☆事務局

ありがとうございました。

以上をもちまして市長と話し合う会を終了させていただきます。皆さんお疲れさまでした。

—— 了 ——